

今井邦子 小説家。明治二十二年五月二十一日徳島縣生れ。昭和二十二年七月十五日没（八〇—一九四）。父は教育家山田邦彦、本名くひえ。別名山田くひ子、山田邦子。諏訪高等女學校卒。明治四十四年今井健彦（のち代議士）と結婚。大正五年島本赤彦と結婚し、歌誌『アララギ』に據る。昭和十一年『明日香』創刊主宰。

著書、歌集『光と薫ひつゝ』（山田邦子名、大正五年六月十一日曙光社）、同『紫草』（昭和六年七月十日岩波書店、「アララギ叢書」）、

隨筆集『葦草』（昭和八年一月二十五日古今書院、「アララギ叢書」）、

『女性短歌讀本』（昭和十一年九月十日むらさき出版部）、『樋口一葉』

（昭和十五年七月十日萬里閣）、『生活文化の方向』（合著・古今

谷綱武編、昭和十五年九月十七日各取書店）、『わが母を語る』（合

著・家庭新聞社編輯局、新妻伊都子編、昭和十六年十一月二日家庭新

聞社出版部）、『螢と雪』（昭和十八年十一月十五日むらさき出版

部）、『女流十人歌集』（合著・中河與一編、昭和十七年五月二十日

富士書店）、『新女性文化・教養篇』（合著・中田秀夫編、昭和十八

年一月二十日國民社）、『日本女流文學評論』（編、昭和十八年五月

二十日越後屋書房）、歌集『鏡光』（編、昭和十八年七月五日青榕堂

『明日香叢書』）、『清少納言と紫式部』（昭和十九年二月二十五日

潮文閣）、『紫式部』（昭和二十一年十月二十日潮文閣）、『清少納

言』（昭和二十一年十一月十日潮文閣）、『信濃詩

情』（昭和二十一年十二月十五日長野・明日香書

房）、『日本女流文學評論・近世篇（中世・近世篇）』

（編、昭和二十二年八月十日長野・明日香書房）、『紫式部』（昭和



（千）二年四月十五日弘學社）、歌集口紫草口（昭和）二十二年六月十日
愛知・高須書房）等。